

○「東京都保健医療計画」では、「東京都地域医療構想」の実現に向けた、病床の機能分化及び連携を推進するための取組指標として、以下の2つの指標を設定。

(「東京都保健医療計画(平成30年3月改定)」P.52)

各指標の設定目標と令和3年度実績

項目	指標名	策定時	目標値	令和3年度実績	達成状況	出典
東京の将来の医療(地域医療構想)	退院調整部門の設置数及び割合	346病院 58.7%	増やす 上げる	388病院 68.9%	A	令和3年度病床機能報告 ※退院調整部門：令和3年7月1日時点 ※病床稼働率：令和2年4月～令和3年3月 (令和2年度報告までは前年6月～当年7月実績だったが、令和3年度報告より対象期間変更)
	病床稼働率(病床機能別)	高度急性期：80.5% 急性期：76.4% 回復期：84.5% 慢性期：89.1%	上げる	高度急性期：71.5% 急性期：67.1% 回復期：82.1% 慢性期：85.9%	—	

※ 病床稼働率について、計画策定時から算定方法に誤りがあったため、訂正後の数値で記載(参考資料6参照)

※ 病床稼働率=在棟患者延べ数÷(許可病床数×年間日数)×100

※ 病院全体での病床稼働率が30%未満である病院の病棟データは、異常値として集計対象から除外し集計

<評価基準> A：達成している B：概ね達成している C：やや達成が遅れている D：達成が遅れている —：その他

達成状況の評価について

「退院調整部門の設置数及び割合」は、令和3年度実績は計画策定時に対して数の増加、割合の上昇がみられることから、「A」(達成している)とした。

「病床稼働率(病床機能別)」の実績の低下は、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられるが、A~Dの評価基準を機械的に適用することが妥当か。